



Java ユーザグループと JCP: 勝利への方程式

浜本 奈保子

JCP PMO Program Manager

naoko@jcp.org

http://jcp.org

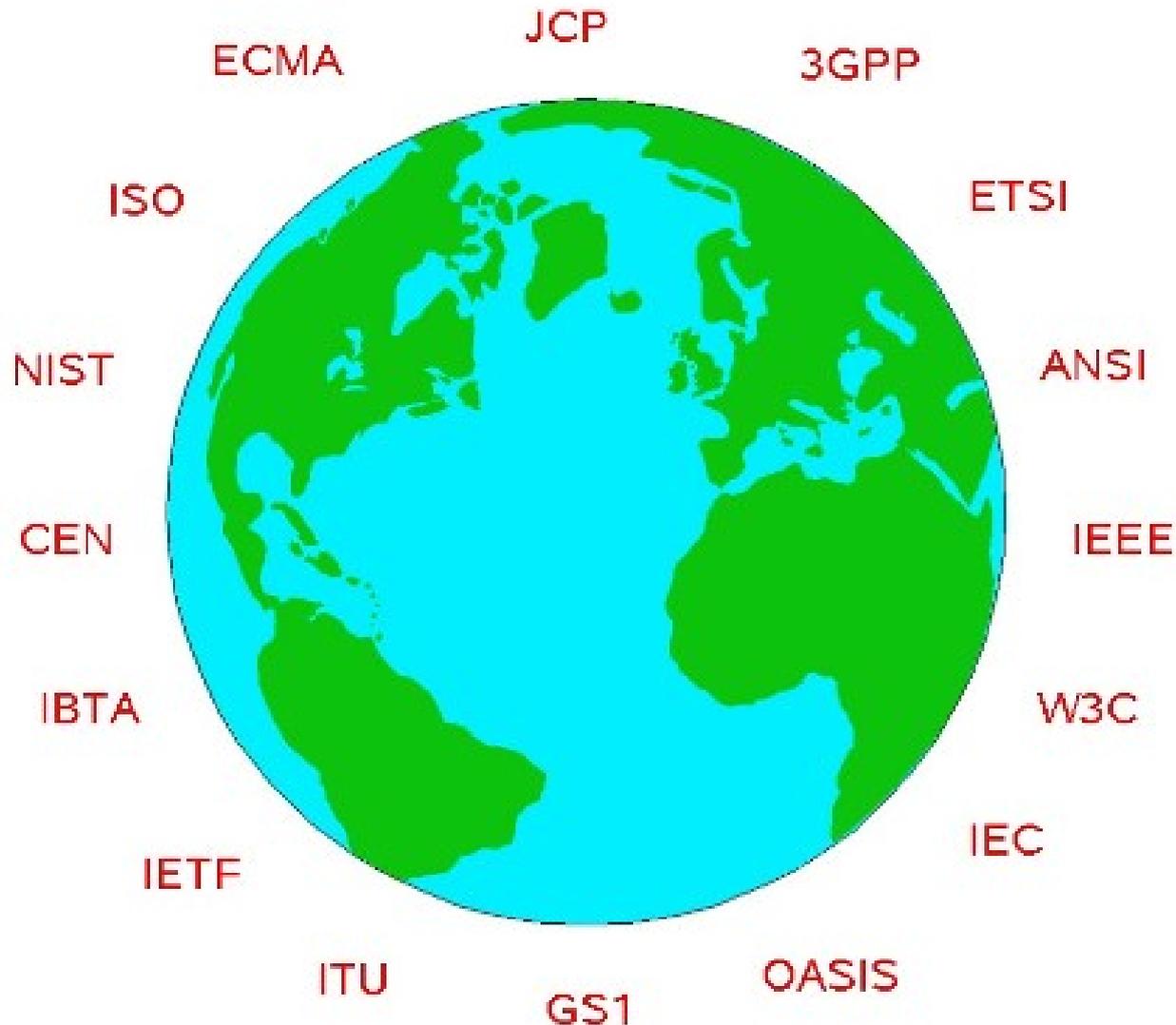
May 2012



ウエルカム



標準規格は世界で通用する



主力産業システム

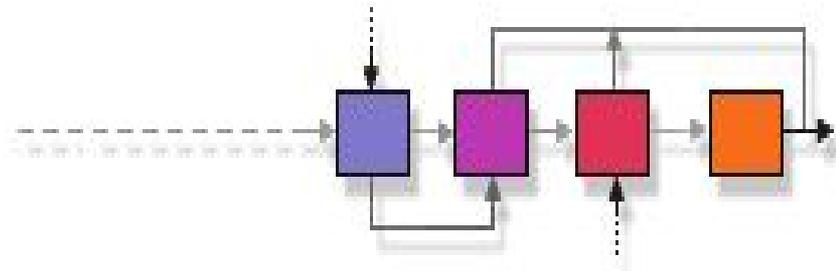


日本発の標準規格の例



- VHS
- CD
- VCD (Video CD)
- DVD
- BD (Blue Ray Disc)
- HDMI

Java の標準規格

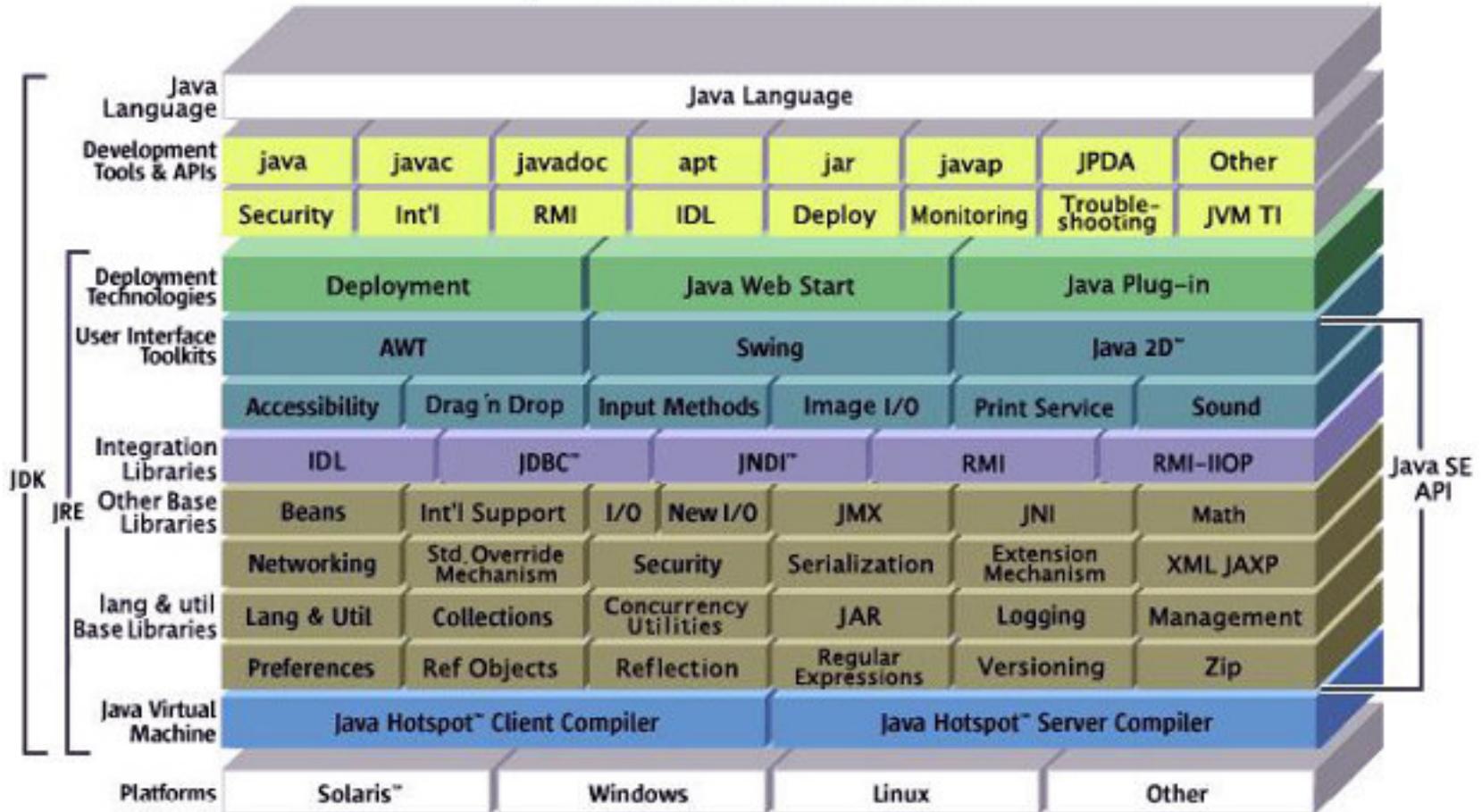


Community Development of
Java Technology Specifications

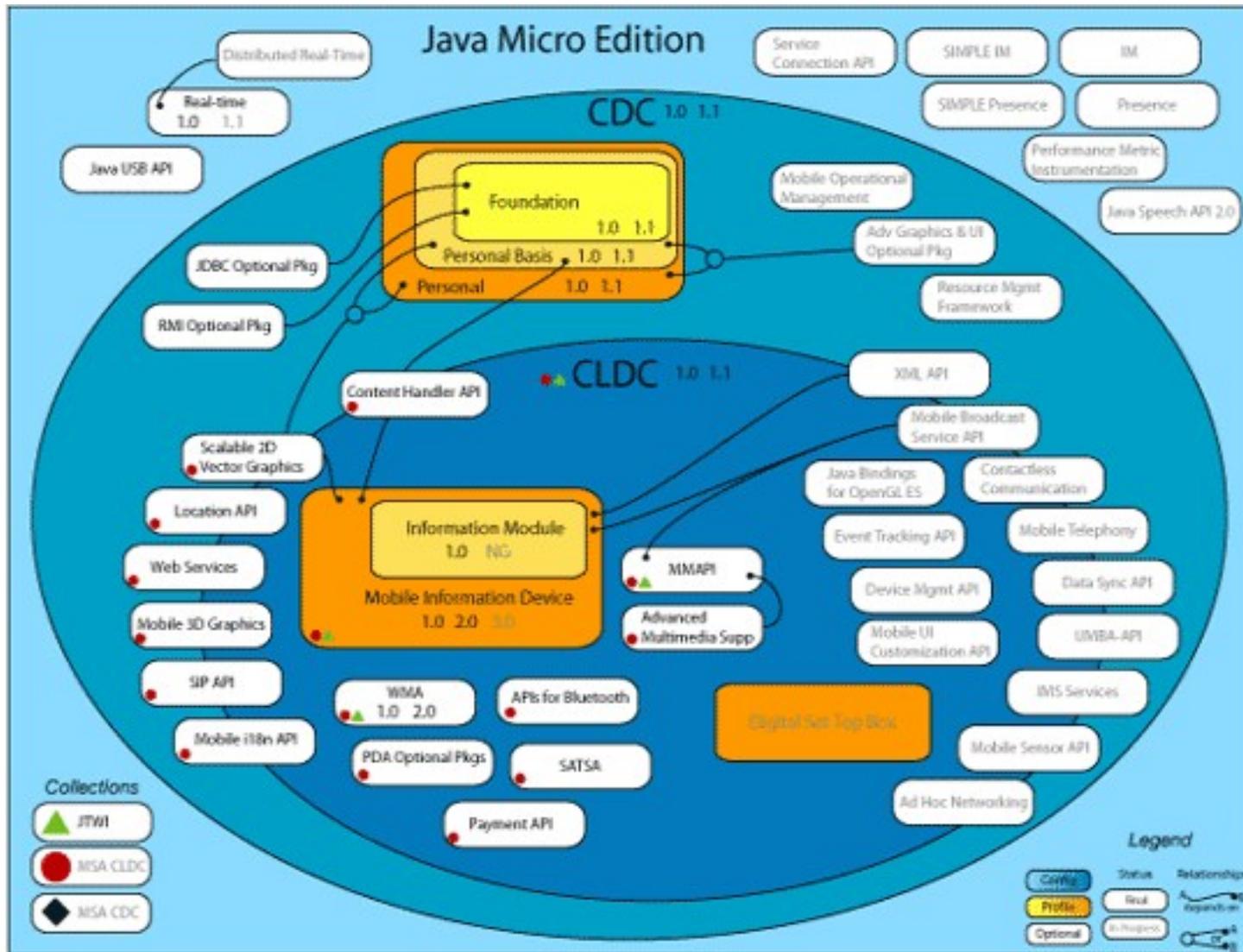
Java SE



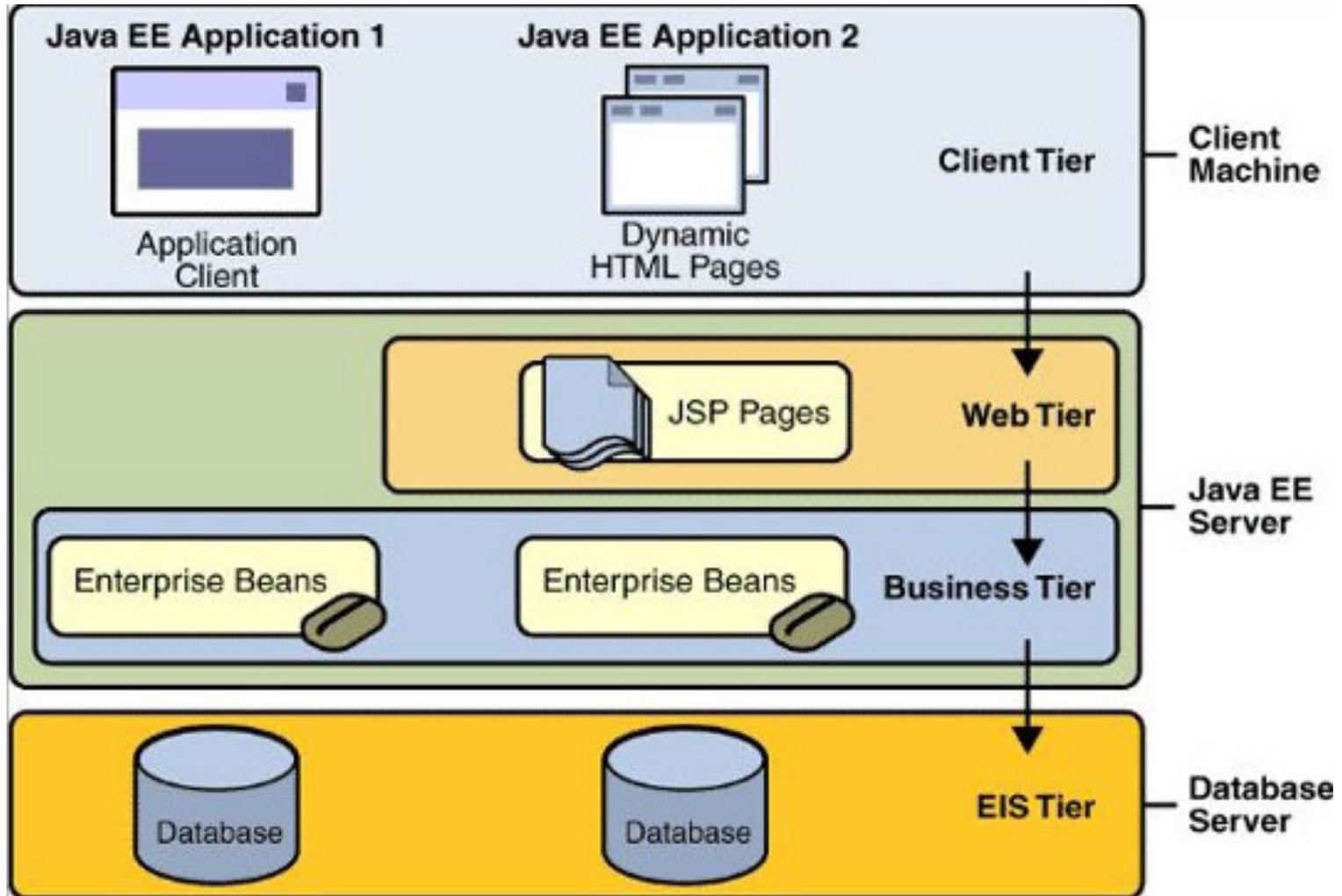
Java™ Platform Standard Edition



Java ME



Java EE



JCP の活動内容



How we do it



- Java Specification Request (JSR): 規格仕様提案
 - JSR は Java スペックのバージョンの一つと考える
 - JSR はコミュニティの中のスペックリードにより先導されながら、そのテクノロジーに興味を持つエキスパートグループのメンバーが参加し、日々の意思決定を手伝い、彼等の貢献により形成される
 - コミュニティのメンバーは誰でも JSR の提案やリードすることが可能
- 各エキスパートグループは以下のものを提供する必要がある
 - Specification : スペック
 - Reference Implementation (RI) : リファレンス実装
 - Technology Compatibility Kit (TCK) : テクノロジー互換性キット

三角形の互換性

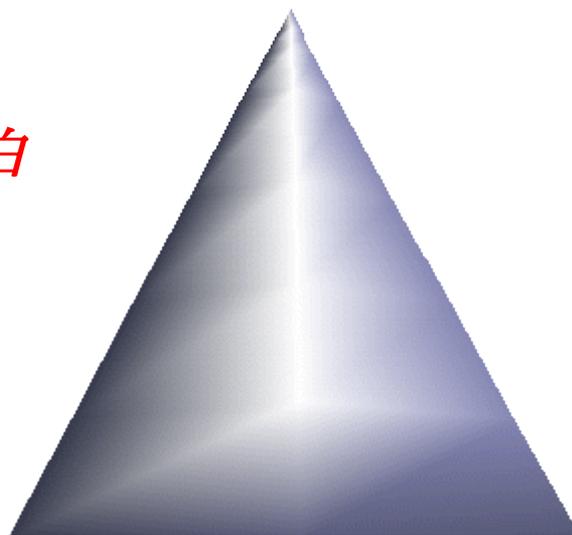


スペック

スペックは明白
ですか？

実装することが
出来ますか？

TCK



RI

TCKは正しく作動しますか？
RIはスペックに準拠
していますか？

成果



互換性テスト

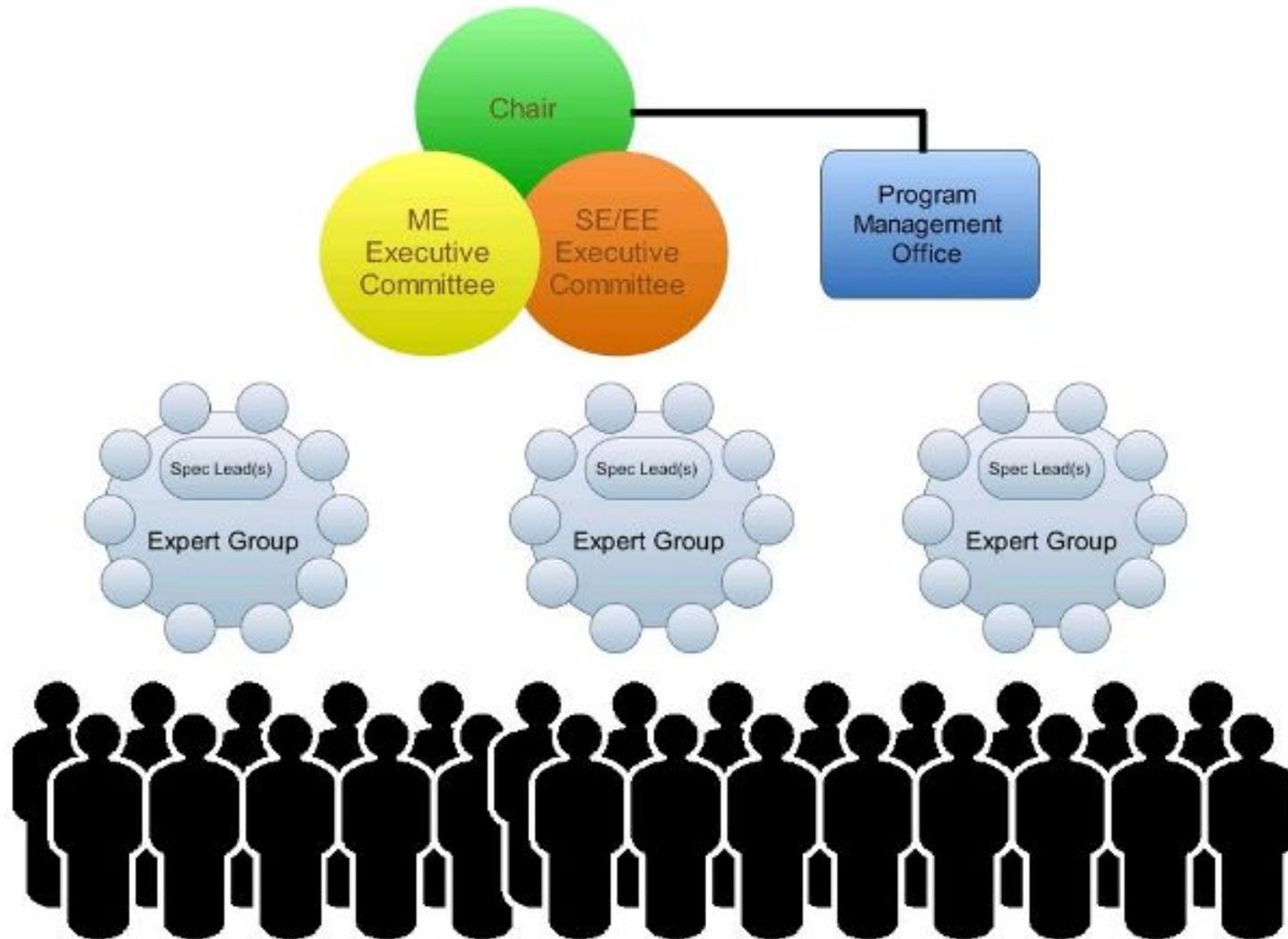


ガバナンス



- Java Specification Participation Agreement (JSPA)
 - メンバーとオラクルとの間での法的契約書
 - 知的財産（IP）の譲渡についてや
 スペック、RI、TCK のライセンスの使用条件に
 ついて書かれている
 - <http://www.jcp.org/aboutJava/communityprocess/JSPA2.pdf>.
- JCP 2: プロセスドキュメント
 - 組織のガバナンスを明白にする
 - スペックの提出方法、開発、レビュー、承認、メンテ
 等々のプロセスを明白にする
 - RI と TCK を開発する際の義務を明白にする
 - <http://jcp.org/en/procedures/jcp2>.

組織



役割



- JCP 議長 (JCP Chair)
 - 組織をリードし、PMO をマネージする
- プログラムマネジメントオフィス (PMO)
 - 組織の日常的活動をマネージする
- エグゼクティブコミッティ (EC)
 - JCP ガバナンス、プロセス、メンバーシップの契約条件を定義
 - プロセス上定義された段階で提案された JSR を許可するか投票で決定
- スペックリード (SL)
 - JSR の責任者、エキスパートグループのリーダー
- エクスパートグループ (EG)
 - JSR を作成 (スペックの作成、RI と TCK の開発)
- メンバー
 - スペックを検定、EG への参加、EC 選挙での投票権

エグゼクティブコミッティ (EC)



- 2つのエグゼクティブコミッティ：
 - Java ME EC、Java SE と Java EE との合同 EC
 - ふたつの EC は将来統合予定
- EC は、約月 1 回テレカンファレンスにて、年 3 回実会議にて集まる
- EC の議事録は全て公開されている
 - 参照：http://jcp.org/en/resources/EC_summaries.
- 年 2 回公開テレカンファレンス、年 1 回一般公開で実会議を開催
- 皆様からのフィードバック受付用にパブリック用のメーリングリストも用意
 - 参加はこちらから：<http://java.net/projects/jcp-ec/lists>.

エグゼクティブコミッティの選挙



- 各 EC は 16 名のメンバーにより運営
- オラクルは各 EC に 1 常任席を有する
- 15 席のうち 10 席はオラクル推挙によるメンバー
 - オラクルが候補者を指名
 - JCP メンバーの投票で承認される
- 残りの 5 席は JCP メンバー誰でもが立候補可能で投票で決定
- 毎年 EC メンバーの 3 分の 2 は残り、3 分の 1 は選挙で決まる（再選、または置き換わる）
- 辞任により空いた席を埋めるために特別選挙が行われることもある

エグゼクティブコミッティの任務



- 自身の関連している EC の全ての JSR をレビュー
そして投票
- JSPA 並びにプロセスドキュメントの改善
 - JSPA とプロセスドキュメント自体も JSR の
プロセスを用いて改善、変更
 - JSR のプロセス改善の JSR の EG は EC、その SL
は JCP 議長の役割
 - JSPA は JSR 99 により定義された
 - プロセスドキュメントは JSR 215 により
定義された
 - プロセスドキュメントを更に改善させるため、
JSR 348 (JCP.next) を立ち上げ、最近完成
 - 二つの EC を統合する為の JSR 355 は現在進行中

現在の EC メンバー



- Java ME エグゼクティブコミッティ
 - Stefano Andreani, Aplix, ARM, AT&T, CableLabs, Deutsche Telekom, IBM, Werner Keil, Nokia, Oracle, RIM, Samsung, Siemens, SK Telecom, TOTVS, Vodafone.
- Java SE/EE エグゼクティブコミッティ
 - Azul Systems, Credit Suisse, Eclipse, Ericsson, Fujitsu, Goldman Sachs, Google, HP, IBM, Intel, **London Java Community**, Oracle, Red Hat, SAP, **SouJava**, Twitter.

スペックリード



- 個人又は組織を代表するメンバーで JSR の所有者であり推進者
 - エキスパートグループのメンバーを募り活動をオーガナイズする
 - スペック、RI、TCK を提供する責任者
- JSR 開発にあたりテクノロジーの知的財産権の所有者
 - JSPA の下で定義されている遵守義務に従うこと
- スペックリードは RI と TCK のライセンスの条件を定義出来る
 - JSPA の下で定義されている遵守義務に従うこと
- オラクルが既存する 3 つのプラットフォームのスペックリードである：Java ME、Java SE と Java EE

エキスパートグループ



- エキスパートグループはスペックリードにより募集されリードされる
 - JCP のメンバーは皆参加する資格がある
 - 興味のあるメンバーは参加することを推奨され、参加することが望ましい
 - EG はチームとなり、JSR の定義とスペック、RI、TCK の開発に携わる
- エキスパートグループはオープンに作業を行い、その結果として JCP メンバーやそれ以外の誰でもが参加、あるいはレビューが出来るようにしなければならない

メンバーシップ



- 誰でもが参加可能
- 今現在メンバーシップの累計は約 1200
- jcp.org にて登録してあるユーザの数は約 3700
- 会費
 - Java ライセンサー：無料
 - 個人：無料
 - **Java ユーザグループ：無料**
 - 非営利団体：年間 2000 ドル
 - 営利団体：年間 5000 ドル

JCP のメンバーは誰？



- タイプ別会員分布：
 - 77% 個人
 - 21% 営利団体
 - 2% 非営利団体
- 場所による会員分布：
 - 50% 北米
 - 32% ヨーロッパとロシア連邦
 - 13% アジアと中東
 - 5% 南アメリカ

日本の JCP メンバー



- 営利団体（18）

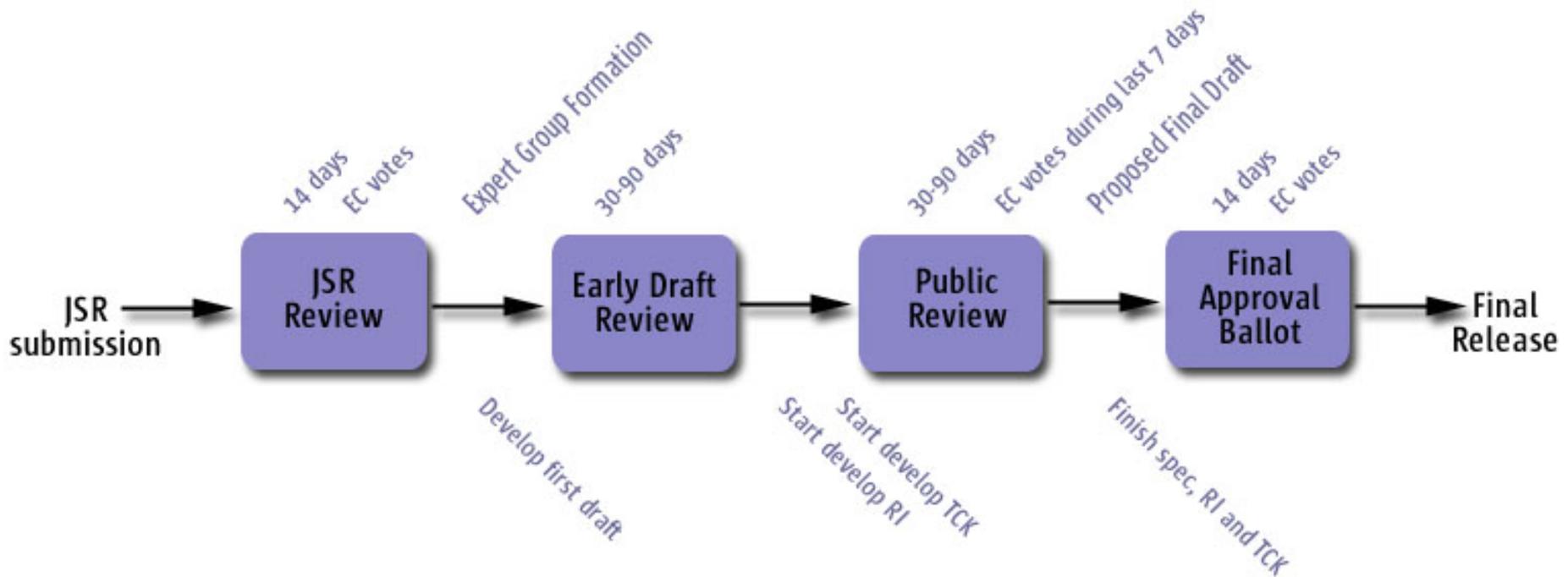
- アクセス、アプリックス、富士通、日立、伊藤忠テクノソリューションズ、ジャストシステム、パナソニック、三菱電機コントロールソフトウェア、三菱電機、NEC、NEC ネットワークス開発研究所、NTT、NTT コムウェア、NTT データ、NTT ドコモ、沖電気工業、リコー、シャープ

- 非営利団体（1）

- **日本 Java ユーザグループ**

- 個人（10）

JSR の開発サイクル



JSR の各段階の要約



- JSRR: JSR レビュー (必須) 2 又は 4 週間
- JAB: JSR 認証バロット (必須) 2 週間
- EDR: 初期ドラフトレビュー (必須) 30/45/60/90 日間
- PR: パブリックレビュー (必須) 30/45/60/90 日間
- PRB: パブリックレビューバロット (必須) 7 日間
- PFD: プロポーズドファイナルドラフト (必須) 期限規定無し
- FAB: ファイナル認証バロット (必須) 2 週間
- FR: ファイナルリリース (必須)
- MR: メンテナンスレビュー (必須) 30 日間
- MRB: メンテナンスレビューバロット (必須) 一週間
- MREL: メンテナンスリリース (必須)

EG は各段階が完了するまで次の段階に進むことは不可

JCP プロセスの変更



プロセスを利用してプロセスの変更



- JCP ではプロセス（プロセスドキュメントと JSPA により定義されている）を変更する時も JSR を通して行なう
 - JCP 議長がスペックリードとなり、EC メンバーが EG となる
- *JSR 348: Java Community Process* の新しいバージョンに向けて、は 2011 年 10 月に完了
 - この JSR は比較的簡単な変更に合わせて約 6 ヶ月で実行出来るようにした
- *JSR 355: エグゼクティブコミッティの統合*、は現在進行中
- 後続の JSR（近いうちに提出予定）は JSPA の更新を含め、もっと複雑な変更事項を含む

JCP.next (JSR 348)



- トランスペアレンシー
- パーティシペーション
- アジリティ

EG のトランスパレンシー



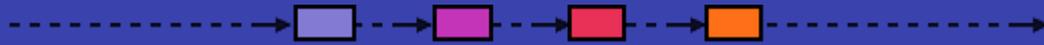
- 全ての活動はパブリックのメーリングリストを使用して行なうこと
- パブリックのイシュートラッカーを使用して問題点をトラックすること
- パブリックのメンバーが EG の作業に対してコメント出来るようにすること
- EG は公に全てのコメントに応答すること

EC のトランスパレンシー



- 一年に 2 回の公開テレカンファレンス、一年に 1 回の一般公開の実会議を JavaOne にて開催
 - 全 JCP メンバーは参加可能
 - 議題はメンバーにより提案されたトピックから選択
- アーカイブ可能なパブリックメーリングリストを作成し、メンバーが EC へのフィードバック出来るようにする
- 新しい EC Standing Rules ではプライベートで規範的ではなかった EC のポリシーや手続きをパブリックで規範的なものに変更
- エスカレーションとアピールのプロセスを定義
 - スペックリード、EG メンバー、JCP メンバーは問題が起こった時に EC にアピールすることが可能

パーティシペーション



- EG への参加リクエスト、スペックリードの応答、EG メンバーの削除又は置換、などは全て EG のパブリックメンバーリングリスト上で報告すること
- 非協力的、応答しない、または妨げになる EG メンバーやスペックリードに対するより良いプロセス
- 2 回連続してミーティングに不参加の EC メンバーは、その後の連続 2 回参加までの期間投票権を失う
 - すでに以下の 4 EC メンバーは投票権がない
 - AT&T, Samsung, SK Telecom, Twitter
- 5 回連続でミーティングに不参加、または 1 2 ヶ月のうち 3 分の 2 以上のミーティングに不参加のメンバーは EC の席から外される

アジリティ



- アクティブでない JSR のタイムアウト
 - 初期ドラフトを1年以内、パブリックドラフトを2年以内、ファイナルリリースを3年以内に提出しなければ、ECの投票により撤去可能
- メンテナンスリリースのプロセスの簡素化
- ファイナルリリースとメンテナンスリリースのプロセスを分かりやすくし、完了・更新されたスペック、RI、TCKの掲載を速やかに行なう
- RI と TCK のリンクが維持されているかを確認する
 - もし壊れていて直ってなかった場合、JSRは「未完成」ステージへと戻される

結果 ...



- JCP メンバーとパブリックがエキスパートグループの活動をオブザーブし、参加しやすくなる
- 活動の default mode は透明性重視モード
- これからの JSR は全て新しい規定に基づいて発足
 - 既存の JSR は自発的に新しいルールを受け入れることが望ましい
- 更なる変更は後続の JSR にて導入

今、私たちはあなた方の参加を必要としています！

JCP.next.2



JSR 355 (EC の統合)



- Java はひとつのプラットフォームであるため、私達は SE/EE と ME がいずれ一つになる事を期待している。よって2つの EC をひとつにする計画である
- EC の席を減らし、推挙と選出の比率 (2 : 1) はキープする
 - オラクルは常任理事の席をひとつ明け渡す
 - 他のメンバーは複数の席を保持することは不可
- この JSR では他に特に重大なプロセスへの変更はなし
- JSR は良い進化をしており、数ヶ月以内に完了予定
- JSR 348 と同様に、全てが公の場で行われている
 - 私達の *java.net* プロジェクトにてぜひともフィードバックをお願いします！

実行計画



- 統合された EC のサイズを 25 席に減らす
- 2012 年の選挙のあと、EC の統合を行なう。この時、オラクルと IBM の第 2 席を除去
- 2010 年に選出されたメンバーは最後まで任務を遂行（2013 年まで）。そののちに残りの席を除去
 - 全員 2013 年に再選挙
 - 2013 年の選挙の前に 25 議席の目標を再考。もし変更が必要な場合は JSR 355 のメンテナンスリリースとして変更
- 2013 年以降選挙サイクルを 2 年に切り替える

JCP.next.3



- JCP.next の最後の JSR は近日中に提出予定
- この JSR はライセンス、知的財産やガバナンスなど複雑な問題に取り組む予定。JSPA も更新される
- これは **大きな議題** である (なぜなら、全ての弁護士の間与が必要となるため)
 - かなり時間のかかることが予想される
- 我等に幸あれ！

コミュニティと共に



- 参加の障害は、撤去
- Java コミュニティの全てのメンバーは参加可能：
 - OpenJDK や GlassFish を通してプラットフォームの実装
 - JCP を通してプラットフォームの進化
- もし Java の将来について関心があるのなら、参加しない弁解の余地はありません ...

ぜひ参加を！



レジスタードユーザ vs. JCP メンバー



- レジスタードユーザ
 - jcp.org アカウント
 - JSR ウォッチリスト
 - JSR コミュニティタブのアクセス
- JCP メンバー
 - JSPA の提出が必要
 - JSR の提出が出来るようになる
 - エキスパートグループへの参加
 - エグゼクティブコミッティへの参加
 - JCP メンバーオンリーイベントの参加
 - レジスタードユーザの権限

JCP への参加方法



- JJUG の一員として JJUG のメンバーシップに関連
 - JJUG の JSPA の規定に基づく
 - JJUG のプライマリーコンタクトの承認が必要
 - 一番簡単な方法
- 組織として参加
 - 組織が JCP のメンバーではない場合、または違う JSPA バージョンで参加したい場合は JSPA の提出が必要
 - 組織が JCP メンバーである場合、メンバーシップ関連リクエストを提出；プライマリーコンタクトの承認が必要
- 個人として参加
 - JSPA の提出が必要
 - 現在所属している組織が JCP 内で開発される知的財産の権利を譲渡する必要がある（Exhibit B は各 JSR に必要）

注：JUG のメンバーが SL/EG として参加する場合は個人の JSPA が必要

アカウント作成手順



The screenshot shows a web browser window displaying the Java Community Process (JCP) website. The browser's address bar shows 'jcp.org/en/home/index'. The page features a navigation menu with links like 'Getting Started', 'Latest Headlines', and 'Oracle Beehive C...'. The main content area is titled 'Welcome to the Java Community Process!' and includes a search bar for JSRs, a 'My JCP' section with a 'Register for Site' link circled in red, and several news articles. A 'Quick Links' sidebar on the right provides direct access to various resources.

Welcome to the Java Community Process!

Welcome to jcp.org, home of the Java Community ProcessSM (JCPSM) Program. The JCP is the mechanism for developing standard technical specifications for Java technology. Anyone can register for the site and participate in reviewing and providing feedback for the Java Specification Requests (JSRs), and anyone can sign up to become a JCP Member and then participate on the Expert Group of a JSR or even submit their own JSR Proposals.

To get the most out of the site, [register now](#).

For more information about the JCP Program, refer to our [overview page](#).

[Find us on Facebook](#) [Follow Us On Twitter](#) [RSS](#)

The JCP Program Targets Corporate Members of a Particular Kind

The Java Community Process (JCP) Program Management Office (PMO) has relied on mature enterprises -- such as Oracle, Nokia, IBM, Motorola, and Siemens -- to form the backbone of the community. [Read more here...](#)

Another Wave Washes Through the JCP.org Site

The JCP community continues to revise itself, with progress lapping forward in a series of gentle waves. [Read the article here.](#)

A new JCP.Next JSR has been submitted

JSR 355, JCP Executive Committee Merge, is now in JSR Review and is expected to complete in August 2012. It has posted an [Public Review Draft](#).

New EC Meeting Summaries now available

Quick Links

- [Spec Lead Guide](#)
- [JCP2](#)
- [Calendar](#)
- [Submit a new JSR](#)
- [java.net JCP community](#)
- [JCP Discussion Forum](#)

News

- [JSR 355 JCP Executive Committee Merge Public Review](#)
- [JSR 342 Java Platform, Enterprise Edition 7 Specification Early Draft Review](#)
- [JSR 341 Expression Language 3.0 Early Draft Review](#)
- [JSR 355 JCP Executive Committee Merge Early Draft Review](#)
- [JSR 349 Bean Validation 1.1 Early Draft Review](#)
- [JSR 331 Constraint Programming API Final Release](#)
- [JSR 343 Java Message Service 2.0 Early Draft Review](#)
- [JSR 339 Java API for RESTful Web Services 2.0 Early Draft Review 2](#)
- [JSR 356 Java API for](#)

Download

メンバー関連手順



- アカウントを作成
- ログイン
- My JCP → My Profile → View Profile → Request Member association
 - 関連したい JCP メンバーを選択、サブミット
- プライマリーコンタクトがリクエストメールを受信
 - 承認または却下
- 承認の場合、プライマリーコンタクトが承認のメールを PMO に送信
- PMO が手続きをし、完了

なぜ参加するのか？



- 企業として：
 - 御社の市場開拓する技術に影響を与える為
 - 自身で開発するよりも安価に出来る為
 - 御社の開発者たちにより優れた機会を与える為
 - 御社の市場のサイズを大きくする為
 - 競争上の優位性を得る為（新製品をより早く市場に出荷することが可能）
- 個人として：
 - 因果応報
 - 経験
 - 名声と幸運

参加の形



- 個人として- OK
- チームの一員として-
更に良い
- JUG を通して
 - お互いを助け
合いながら
 - お互いに教え
あいながら
 - 協力しあいな
がら



JCP の JUG メンバー



- BeJUG (Belgium)
- BreizhJUG (Brittany)
- Central Ohio JUG (USA)
- Connecticut JUG (USA)
- Detroit JUG (USA)
- Duchess (Women)
- Houston JUG (USA)
- iJUG e.V. (Germany)
- IndiJava (India)
- **Japan JUG**
- Java Student User Group (Vienna)
- Java Web User Group (London)
- JUG-AFRICA
- JUG Chennai (India)
- UG-EG (Egypt)
- JUG Indonesia
- JUG-MK (Macedonia)
- JUG-RU (Russia)
- JUG-USA
- London Java Community (UK)
- Malaysia-JUG
- MoroccoJUG
- Nashville JUG (United States)
- Oklahoma City JUG (USA)
- Rio JUG (Brazil)
- Riviera JUG (France)
- Ruhrjug (Germany)
- Silicon Valley JavaFX User Group (USA)
- SouJava (Brazil)
- Utah JUG (USA)

JUG の EC メンバー



- **SouJava** (Bruno Souza, Fabio Velloso, Yara Senger):
 - 2011 年 5 月の特別選挙にて、SE/EE EC の席に
オラクルから推挙される
- **London Java Community** (Ben Evans, Martijn Verburg, Trisha Gee):
 - 2011 年 5 月の特別選挙にて、SE/EE EC 選出
議席を獲得
- どちらもすでに JCP に多大な貢献をもたらす

Adopt a JSR!



Thank you



and



Adopt A JSR とは？



- Java の標準を改善するために JUG が率先して始めたプログラム
- JUG のメンバーがチームとなり JSR に取り組む
- 詳しくはこちらで：

<http://java.net/projects/jugs/pages/AdoptAJSR>



JUGが参加するのはなぜか？



- Java のエコシステム向上のため
- 規格開発のプロセスをスピードアップするため
- 外から見ているだけではなく実際にソリューションの一部となり活躍するため
- 新技術の最前線にいるため
- Java の標準が象牙の塔にならず、実用的で現実の世界に関連されていることを確保するため
 - 私達はエンドユーザや開発者からの専門家の意見を必要としている
- Java 規格が真にグローバルであることを確保するため
 - 英語が母国語でないメンバーの参加を増やし、フィードバックやインプットを得る必要性がある

どのような形で参加出来るか



- スペックをレビューしてフィードバックを提供する
- RI と TCK の開発の手助けをする
- メーリングリストの質問に対応する
- 問題のトリアージをする
- テストをする
- ドキュメンテーションの手助けをする
- プロジェクトのエバンジェリストとなる
- など ...

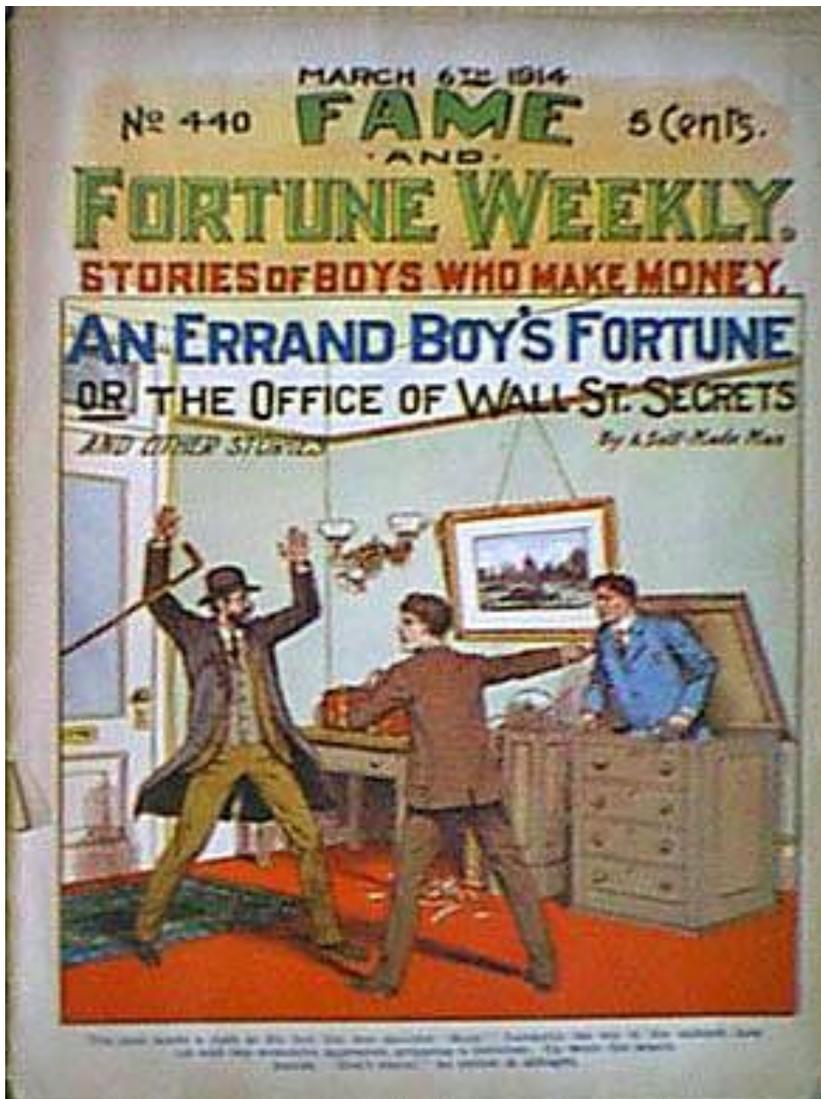
Adopt A JSR への参加手順



- JUG リーダーにコンタクトを取る
- 以下を参照：
<http://java.net/projects/jugs/pages/AdoptAJSR>
– 簡単な手順に従う
- 仲間の JUG メンバーや、友達、他の JUG メンバーと一緒に参加する
- 現在進行中の JSR を JUG のミーティングで魅力的に語ってください

楽しんでください！

参加する意義は？



- あなたのキャリア向上のため
- 業界の知り合いを増やすため
- ソフトスキル向上のため
 - 口頭および書面によるコミュニケーション
 - 交渉
 - コラボレーション

Coming soon...



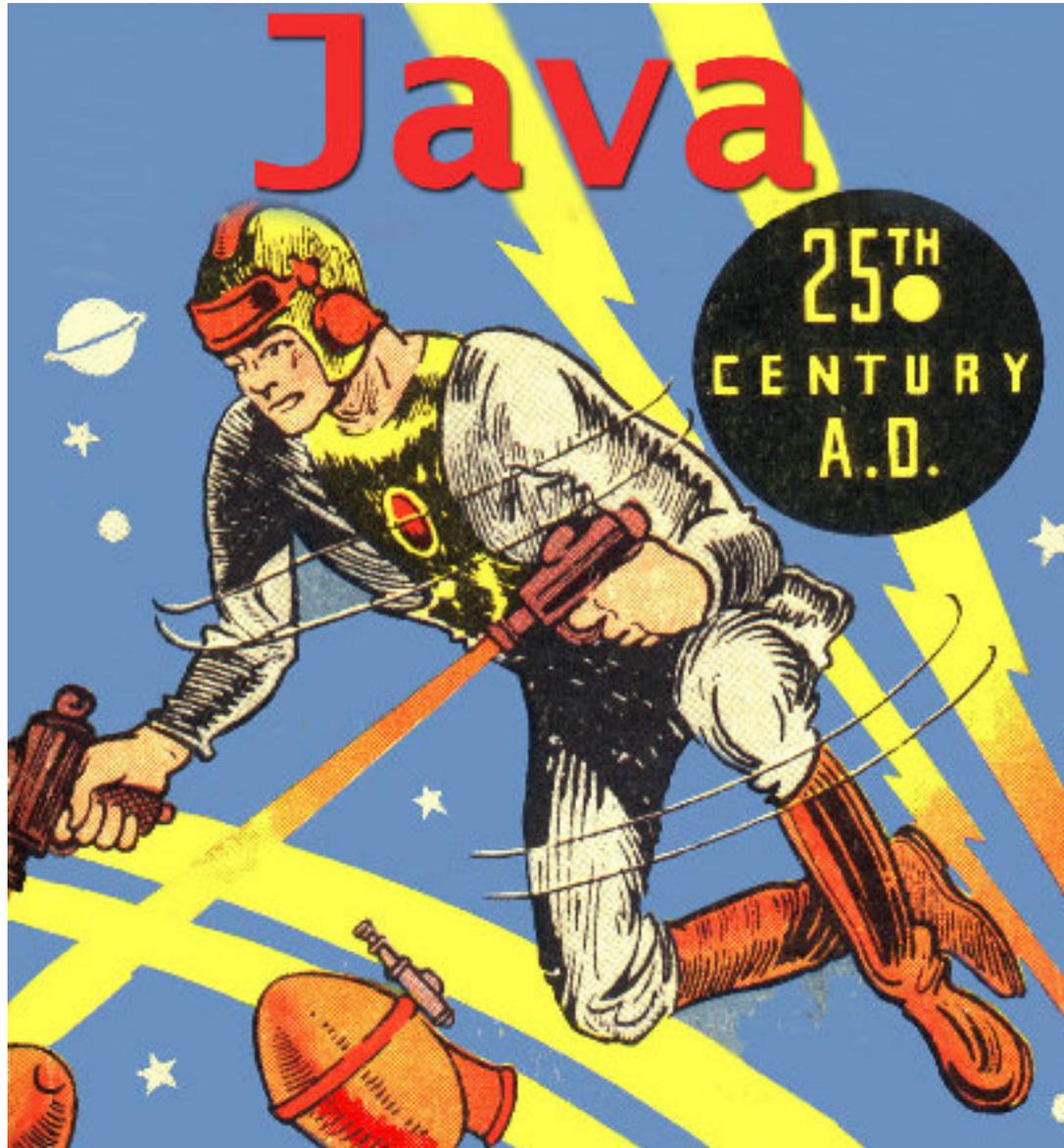
Adopt OpenJDK

次のステップは？



- 現在約 30 の JUG が JCP のメンバー
 - それぞれの JUG にはたくさんのメンバーがいるので、実際には何万人もの開発者が参加
- *Adopt a JSR* プログラムは London Java Community と SouJava により生み出された
- 他にもいろいろな形での参加が可能
- 是非いろいろやってみてください

Java の未来はあなたのものです



コンタクト



- ask-the-pmo@jcp.org
 - プロセスについての質問
 - 契約書についての質問
 - その他、他でカバーされないトピックスに関する質問
- admin@jcp.org
 - アドミニについての質問
- spec-submit@jcp.org
 - JSR のマテリアル提出先
- webmaster@jcp.org
 - ウェブサイト関連の質問